

■ 14期生修学旅行の中止について

今年度、14期生は12月にシンガポール修学旅行を企画していました。本校としても初めてのシンガポールへの修学旅行ということで昨年度から着々と準備を進めているところでした。

今年度に入って、県教育委員会から今年度の姉妹校訪問や海外修学旅行の中止の通知があり、修学旅行については国内での実施を検討してきました。生徒及び保護者の皆さんにも2回アンケートを取り、沖縄でのコース設定等も進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、旅行中や旅行直前に感染が判明した場合の対応に明確な見通しが立たないことを踏まえ、学校として修学旅行の中止を決定しました。

7月20日、2年次の学年集会において生徒の皆さんに伝え、保護者あて文書を配付しました。本当に残念ですが、キャンセル料等のことを考慮すると7月末までの判断が必要でした。修学旅行に匹敵するような行事の開催は難しいですが、今後、生徒の皆さんと相談しながら、高校生活の思い出になるような行事を考えていきます。

■ WEB 留学体験をしてみよう！

YISは、毎年海外の大学への進学を考える生徒が多くなっています。昨年度の卒業生（12期生194名）の中で海外大学への進学を希望するのは9名でした。

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大状況を考えると、留学を考えることを躊躇すると思いますが、国内の多くの大学と同様に海外の大学では現在オンライン授業で行われています。国内の大学では、構内立ち入り禁止が継続するところも多いと伺っています。

日本の学校に通いながら参加できそうな短時間コースのオンライン授業もあるので、留学のトライアルのつもりで留学情報のサイトを覗いてみてもよいでしょう。海外大学のオンライン授業は、学生同士の交流にも重点を置いています。文化や言語背景が異なる多様な学生とのつながりを経験してみるとキャリア選択のヒントになるかもしれません。興味のある皆さんは、次の留学情報サイトを検索してみましょう！

※日本学生支援機構の海外留学支援サイト

※トビタテ！留学 JAPAN

※希望渡航先の大使館や政府の留学情報サイト

■ 「ともに生きる社会」とは

平成28年7月26日、障がい者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、神奈川県は「**ともに生きる社会かながわ憲章**」を定めました。

○私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします

○私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します

○私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します

○私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

7月20日～26日は、「**ともに生きるかながわ推進週間**」です。コロナ禍でいのちについて考える機会も多くなっています。感染拡大に対する不安や恐怖は自然な感情ですが、過剰にそれらの感情が大きくなると他者を攻撃したり、自分の心身にダメージを与えたりします。このような状況下だからこそ、冷静に自分と向き合い、他者との関わり方を気にかける必要があります。

まず自分でできることをしましょう！具体的には、手洗い、マスク着用、感染の可能性が高い場所を避ける、生活リズムを整える、睡眠、適度な運動などです。

他者との関わりの中で一番気を付けるべきなのは、「**飛沫**」と言われています。学校では、消毒作業をしっかり行っています。皆でこの難局を乗り越えましょう！

○「体育」の授業の様子@YIS 校庭

